

市議会報告

一般質問を通じて、主要テーマの進捗と市の答弁をまとめました。



◆中学校建設について

本町田・山崎地区の中学校は、当初、木曾山崎スポーツ広場への建設が予定されていましたが、問題点を指摘した結果、別の場所へ変更されました。その後、旧本町田小学校跡地が候補とされていますが、かつて小学校建設が不適切とされた土地であり、妥当性に疑問を感じます。



日向山公園に隣接する市の未利用地は、本町田ひ

なた小学校新校舎にも近く、小中連携の観点からも有効な候補地であることから、用地の再検討を求めています。

一方、中学校建設地が検討中のまま、本町田の生徒は三中への学区変更が進められています。

これは金井中建設に伴う薬師中との統合によるものですが、金井中は41年前に建設された比較的新しい校舎であるのに対して、三中は57年前に建設されており、施設の状況を踏まえれば、金井中の建設を急がず、立ち止まって計画を見直すべきだと提案しております。



◆子どもの居場所づくりについて

町田市では、学童保育の入会要件として、保護者の帰宅時間が15時30分以降であることが求められています。しかし、夏休みなどの長期休暇中は、子どもは一日中自宅で過ごす一方、保護者は通常どおり仕事があり、対応に苦慮している家庭も少なくありません。



こうした実態を踏まえ、夏休みなどの長期休暇中に限った学童保育の利用や、子どもセンターや子どもクラブなどで安全に過ごせる居場所の確保を要望しています。

また、長期休暇中の学童保育では昼食持参が保護者の負担となっていました。中学校給食センターの稼働開始を受け、金井小や本町田ひなた小などでの昼食提供を要望したところ実施されました。

さらに、子どもの居場所づくりとして、市民センターやコミュニティセンターのフリースペースや未使用の会議室を子どもや中高生にも開放する取り組みが行われるようになりました。

◆子どもの体験の場づくりについて

子どもが主体的にチャレンジできる体験の場について、市の施策を確認しました。市長から、子どもセンターや子どもクラブ、まちとも、冒険遊び場など、子どもの主体的な活動を生む居場所を、地域と連携しながら整備しているとの説明がありました。



芹ヶ谷公園「芸術の杜」では、美術館や版画工房、アート体験棟など、自然と文化に触れられる拠点づくりが進められています。

また、金井・薬師子どもクラブとして金井遊歩公園隣接地に整備予定で、2025年度に実施設計、2028年度の開館を目指しています。ワークショップで出された外遊びスペースやスポーツ、授乳室などの意見は計画に反映されます。

今後も、子どもが“自分で見つけて挑戦できる体験”の場を、市内各地域で実現できるよう取り組んでまいります。



大好きなまちだから、ずっとみんなで暮らしていけるまちに。

あやり通信6

発行:熊沢あやり事務所 〒194-0032 町田市本町田2923 TEL.042-728-0088

町田市議会議員
税理士

熊沢あやり



町田市議会議員
熊沢あやり
税理士

PROFILE

昭和46年町田市本町田生まれ。平成14年町田市議会議員初当選。6期連続当選。第37代町田市議会議長等を歴任。現在、健康福祉常任委員会委員、町田市都市計画審議会委員。

早いもので町田市議の任期もあと数ヶ月となりました。

30歳で立候補させていただき、新人の頃は、税理士としての経験と経営的知識を活かし、行財政改革に取り組み、新公会計制度の導入、監査機能の強化などに取り組んでまいりました。

その後結婚し、不妊治療の末、40歳で長男、42歳で長女を出産。議員活動と子育ての両立、保育園、幼稚園、学校などの課題と向き合いながら、同じように仕事と子育てを両立している仲間と共に悩み、課題を共有し、必要な制度や環境整備を具体的に動かしていくことで、町田の子育て・教育環境を少しずつ前へと進めてこられたと感じています。

子どもたちが笑顔で元気に育つには、保護者や教育現場の大変な苦労があります。現場の声をしっかりと聞きながら、「何があればもう少し楽になるか」「どんな支援策があれば将来に希望が持てるか」を議論し続けた6期目の4年間でした。

現在、急激に進行する少子高齢化社会の中で、町田市が子どもを産み育てやすく、また高齢になっても安心して住み続けられる街であるために、私たちにはより一層の工夫と選択が求められています。

限られた財源のなかで、税理士としての専門知識を活かし、ムリ・ムダ・ムラを省きながら、国や東京都との連携も強め、持続可能な地域社会の実現に向けて取り組んでまいります。

熊沢あやり議員の子ども・子育て改革に期待しています



衆議院議員
文部科学大臣
松本 洋平

熊沢あやり議員は、子育てや学校教育の現場にしっかりと向き合い、町田の子ども・子育て改革を今日まで地道に進めてこられました。急速に少子化が進む社会の中で、学校の適正配置は待ったなしの課題です。現場の声を丁寧にすくい上げ、私にも常に共有していただいております。文部行政に携わる者として、その知見を政策に生かす機会が多々ありますが、いつも熊沢あやり議員の現場に根ざした助言に助けられています。

町田の未来を見据え、地域に寄り添い、活動を続ける熊沢あやり議員は、これからの町田市政に欠かせない人材です。